

# 心の輪12R



## 『私もいじめた一人なのに・・・』

という資料を通して、

「いじめ」について考えを深めました！



私は、相手の気持ちを考えて行動したいです。例えば、友達とケンカしたときなども相手の気持ちを考えて行動出来れば、どちらも傷つかない方法を考えられるから、相手の気持ちを考えた方が良かったと思います。

もし、自分の周りにいじめられている人がいたら、勇気を出して「止めなよ。そんなこと許されないよ。」と言いたい。いじめは何があっても許されることではないし、いじめている人は、その人をおもちゃのようにしか考えられていないと思うので、たった一言「止めなよ」と言いたいと思った。

自分がいじめられる立場になったら、この物語に出てきたように、一人だと辛くて悲しいと思う。そして、一人だとその人たちに何も言うことが出来ずに黙ってしまう。逆に、いじめる立場になると相手の気持ちも考えられず、相手に苦しくて悲しい気持ちにさせてしまうと思った。

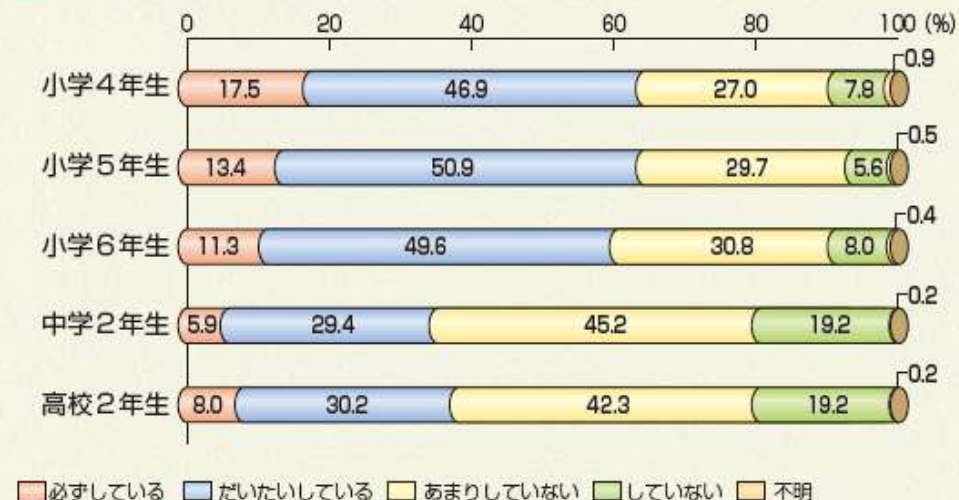
私は、いじめられている人を見かけたら、信じられる人に相談し、自分に自信をつけて、そのいじめを止めたいと思いました。そして、いじめられる側になったら、ずっとそのままにせず、自分に自信が持てるようにしたいです。

弱い人の立場の気持ちを考えて、一人で解決しようとせずに、友達などに言って助けてあげる。「自分もいじめられたらどうしよう」と思うこともあるかもしれないけれど、勇気を出して声を掛ける。誰もいじめられる義務もないし、いじめる権利もないので注意する。

## 正義感

「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」

■あなたはどのくらいしていますか。



国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度)

文部科学省資料

『私たちの道徳』P.162 より引用

見て見ぬ振りや自分もいじめている人と一緒になってするんじゃなくて、その人を助けてあげたいと思った。自分だけで行動するのではなく、周りの人にも「助けてあげたい」と言った方がいいと思った。

みんな同じ人間なんだから、自分がいる、相手がいる。誰かがいじめられていると気持ち良く何か出来ない。だから、いじめは根絶すべきと思う。だから僕は、見て見ぬ振りはしたくない。

『いじめ』という言葉テレビや新聞でよく目にするけれど、こんなに真剣に考えたのは初めてです。身近なことなのに。この話を読んで、「自分も人を傷つけていないだろうか？」と考える機会になりました。

自分が正しいと思ったことをきちんと伝えるためには、まず相手の立場になってみたり相手の気持ちを考えてみたりすることが大切だと思う。また、もし自分がされたら嫌なこと、悲しくなることを言ったりせず、自分がこれを言われたら嬉しいと思うこと、悲しくならぬことを言うことが大切だと思う。